

オリンピック・パラリンピック・ムーブメント展開事業報告も、今回で10回目の更新となりました！！  
いつもご覧いただきありがとうございます♪

今回はボッチャ体験を行った小野市立小野特別支援学校とパラリンピアンを招聘した講演会を行った新温泉町立浜坂中学校の取組を紹介します!(^^)!

### ★11月24日（火）小野市立小野特別支援学校

北京パラリンピック ボッチャ日本代表 内田 恵三さんを講師としてお招きし、小学部と中学部に分かれた2部制でボッチャ体験が行われました。

これまでも授業で体験した事はあったそうですが、本格的なコートやランプ台を使ったり、ゲーム形式でのボッチャは初めての体験となりました。

最初に行われた兵庫県障害者スポーツ協会の方と内田さんによるデモンストレーションでは、内田さんの計算された確実な投球に驚きの声が上がっていました。ゲームでは、ジャックボールに近づける投球ができた時には拍手で盛り上がり、ゲーム終了後の得点の説明を寄って聞きに行ったりと、ボッチャの面白さや奥深さをより感じることであった時間となりました。

体験終了後には、「**ボッチャを通じて僕は世界へ行けた。みんなも何か一つでいいから得意なことを見つけて頑張ってください。それは必ず自分の支えになります。**」と内田さんから生徒の皆さんへメッセージを送られました。



### ★11月25日（水）新温泉町立浜坂中学校

ロンドンパラリンピック 水泳日本代表 伊藤 真波さんによる「諦めない心」と題した講演会が行われました。その冒頭で「**障害のある人は身近にいる、障害を持っていても同じように何でも頑張れるということ**を伝えたい。」と、思いを伝えられ、学生時代から現在の生活に至るまでをお話いただきました。

絶望から立ち上がったきっかけとなったのが、車いすバスケットボールを楽しむ障害者の方々の姿。「自分ももう逃げない！どんなことがあっても言い訳しない！」「今まで沢山迷惑をかけてきた両親に世界で活躍する姿を見せたい！」と水泳に打ち込み、専用の義手で病院勤務もされていました。

“支えてくれた人たちに恩返しをしたい”との一心で、水泳、仕事、子育てをこなしてきた伊藤さん。

「**みんなも前を向いて守りたい人を大切にできるカッコいい大人になってください。家族を大切に感謝の気持ちをもって接してほしい**」とのメッセージを送られました。

講演後は、サプライズで義手でのヴァイオリン演奏をしてくださり、綺麗な音色に会場は感動でいっぱいになりました。

